(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)公表番号
特表2022-546080
(P2022-546080A)
(43)公表日　令和4年11月2日(2022.11.2)

(51)国際特許分類		FI		テーマコード（参考）
G06F	*3/0484(2022.01)*	G06F	3/0484	5E555
G06F	*3/0488(2022.01)*	G06F	3/0488	
G06F	*3/0481(2022.01)*	G06F	3/0481	

審査請求　有　予備審査請求　未請求　（全34頁）

(21)出願番号　特願2022-513472(P2022-513472)
(86)(22)出願日　令和2年8月18日(2020.8.18)
(85)翻訳文提出日　令和4年2月28日(2022.2.28)
(86)国際出願番号　PCT/CN2020/109857
(87)国際公開番号　WO2021/036871
(87)国際公開日　令和3年3月4日(2021.3.4)
(31)優先権主張番号　201910815339.X
(32)優先日　令和1年8月30日(2019.8.30)
(33)優先権主張国・地域又は機関
中国(CN)
(81)指定国・地域　AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,
最終頁に続く

(71)出願人　516227559
オッポ広東移動通信有限公司
GUANGDONG OPPO MOBILE TELECOMMUNICATIONS CORP., LTD.
中華人民共和国広東省東莞市長安鎮烏沙海浜路１８号
No. 18 Haibin Road, Wusha, Chang'an, Dongguan, Guangdong 523860 China
(74)代理人　100126000
弁理士　岩池 満
(74)代理人　100203105
弁理士　江口 能弘
最終頁に続く

(54)【発明の名称】　情報入力方法、装置及び端末

(57)【要約】
コンピュータの技術分野に属する情報入力方法、装置、端末及び記憶媒体を提供する。情報入力方法は、第一指令を受信するとき底部模様画面を表示するステップであって、第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、底部模様画面の面積は現在のユーザーインターフェースの面積より小さいステップと、底部模様画面に第一入力制御部を表示するステップと、第一入力制御部が触発するとき、入力信号により第一情報を入力するステップであって、入力信号は端末のセンサーにより端末に入力する信号であるステップとを含む。端末は現在のユーザーインターフェースに底部模様画面を表示し、底部模様画面において端末に情報を入力する。これにより、情報を入力する効率を向上させ、使用者は重要な情報を端末に迅速に入力できる。
【選択図】図３

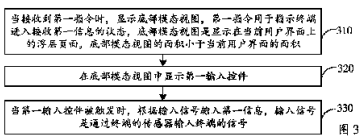


图３

310　Upon receiving a first instruction, display a base mode view, wherein the first instruction is used to instruct a terminal to enter a mode for receiving first information, the base mode view is a floating layer page displayed on a current user interface, and the base mode view has an area less than that of the current user interface
320　Display a first input control in the base mode view
330　Upon a trigger of the first input control, input the first information according to an input signal that is input into the terminal via a sensor of the terminal

【特許請求の範囲】
【請求項１】
第一指令を受信するとき底部模様画面を表示するステップであって、前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、前記底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さいステップと、
前記底部模様画面に第一入力制御部を表示するステップと、
前記第一入力制御部が触発するとき、入力信号により第一情報を入力するステップであって、前記入力信号は前記端末のセンサーにより前記端末に入力する信号であるステップとを含むことを特徴とする情報入力方法。
【請求項２】
前記底部模様画面を表示した後、前記情報入力方法は、
第二指令を受信するとき前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換するステップであって、前記フルスクリーン模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積と同一であり、前記第二指令は前記底部模様画面が所定の操作指令を受信するときそれを触発させる指令であるステップ、または
第三指令を受信するとき前記底部模様画面を縮小模様画面に変換するステップであって、前記縮小模様画面の面積は前記底部模様画面の面積より小さいステップを更に実施することを特徴とする請求項１に記載の情報入力方法。
【請求項３】
前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換した後、前記情報入力方法は、
前記フルスクリーン模様画面にｍ個の第二入力制御部を表示するステップであって、前記第二入力制御部は前記第一入力制御部と異なっている制御部であり、ｍは正整数であるステップと、
前記第二入力制御部は入力される第二情報を受信するとき、前記第二情報を前記端末に記憶させるステップとを更に実施することを特徴とする請求項２に記載の情報入力方法。
【請求項４】
前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換した後、前記情報入力方法は、
前記下向きスライド指令を受信するステップであって、前記下向きスライド指令は前記フルスクリーン模様画面の上部フレームに対してドラッグダウン操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第一閾値より小さくなくかつ第二閾値より小さいとき、前記フルスクリーン模様画面を前記底部模様画面に変換するステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第二閾値より小さくないとき、前記フルスクリーン模様画面を前記縮小模様画面に変換するステップとを更に実施することを特徴とする請求項３に記載の情報入力方法。
【請求項５】
前記底部模様画面を縮小模様画面に変換した後、前記情報入力方法は、
前記縮小模様画面に記憶制御部を表示するステップと、
前記記憶制御部が触発するとき前記第一情報を記憶させるステップとを更に実施することを特徴とする請求項２に記載の情報入力方法。
【請求項６】
前記底部模様画面を縮小模様画面に変換した後、前記情報入力方法は、
前記上向きスライド指令を受信するステップであって、前記上向きスライド指令は前記縮小模様画面の上部フレームに対してドラッグアップ操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第三閾値より小さくなくかつ第四閾値より小さいとき、前記縮小模様画面を前記底部模様画面に変換するステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第四閾値より小さくないとき、前記

縮小模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換するステップとを更に実施することを特徴とする請求項５に記載の情報入力方法。
【請求項７】
前記第二指令を受信するとき前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換するステップは、
前記底部模様画面にフルスクリーン模様ボタンを表示するステップと、
前記フルスクリーン模様ボタンが触発するとき、前記底部模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換するステップとを含むことを特徴とする請求項２に記載の情報入力方法。
【請求項８】
第一指令を受信するとき底部模様画面を表示するステップは、
前記第一情報を入力する指令を受信するとき、前記第一情報において編集回数がもっとも多い前のｎ個のパラメーターを獲得するステップであって、ｎは正整数であるステップと、
前記底部模様画面を表示するステップと、
前記底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップとを含むことを特徴とする請求項１～７のうちいずれか一項に記載の情報入力方法。
【請求項９】
前記底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップは、ｎが項目数の閾値より大きくないとき、前記底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップを含み、前記パラメーターは前記入力制御部に１つずつ対応することを特徴とする請求項８に記載の情報入力方法。
【請求項１０】
前記第一指令は目標対象のストレージパスを選択する指令であり、前記目標対象は前記現在のユーザーインターフェースに表示されている対象であることを特徴とする請求項１に記載の情報入力方法。
【請求項１１】
前記第一情報は、連絡先情報、日程情報、メモ情報、タイムトライアル情報、パス情報またはメール情報のうち少なくとも一種を含むことを特徴とする請求項１に記載の情報入力方法。
【請求項１２】
第一指令を受信するとき底部模様画面を表示する画面表示モジュールであって、前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、前記底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さい画面表示モジュールと、
前記底部模様画面に第一入力制御部を表示する制御部表示モジュールと、
前記第一入力制御部が触発するとき、入力信号により端末に第一情報を入力する情報入力モジュールであって、前記入力信号は前記端末のセンサーにより前記端末に入力する信号である情報入力モジュールとを含むことを特徴とする情報入力装置。
【請求項１３】
前記情報入力装置は第一変換モジュールと第二変換モジュールを更に含み、
前記第一変換モジュールは、第二指令を受信するとき前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換し、前記フルスクリーン模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積と同一であり、前記第二指令は前記底部模様画面が所定の操作指令を受信するときそれを触発させる指令であり、
前記第二変換モジュールは第三指令を受信するとき前記底部模様画面を縮小模様画面に変換し、前記縮小模様画面の面積は前記底部模様画面の面積より小さいことを特徴とする請求項１２に記載の情報入力装置。
【請求項１４】

前記情報入力装置は実施モジュールを更に含み、前記実施モジュールは、
前記フルスクリーン模様画面にｍ個の第二入力制御部を表示するステップであって、前記第二入力制御部は前記第一入力制御部と異なっている制御部であり、ｍは正整数であるステップと、
前記第二入力制御部は入力される第二情報を受信するとき、前記第二情報を前記端末に記憶させるステップとを実施することにも用いられることを特徴とする請求項１３に記載の情報入力装置。
【請求項１５】
前記実施モジュールは、
前記下向きスライド指令を受信するステップであって、前記下向きスライド指令は前記フルスクリーン模様画面の上部フレームに対してドラッグダウン操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第一閾値より小さくなくかつ第二閾値より小さいとき、前記フルスクリーン模様画面を前記底部模様画面に変換するステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第二閾値より小さくないとき、前記フルスクリーン模様画面を前記縮小模様画面に変換するステップとを実施することにも用いられることを特徴とする請求項１４に記載の情報入力装置。
【請求項１６】
前記実施モジュールは、前記縮小模様画面に記憶制御部を表示するステップと、前記記憶制御部が触発するとき前記第一情報を記憶させるステップとを実施することにも用いられることを特徴とする請求項１３に記載の情報入力装置。
【請求項１７】
前記実施モジュールは、
前記上向きスライド指令を受信するステップであって、前記上向きスライド指令は前記縮小模様画面の上部フレームに対してドラッグアップ操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第三閾値より小さくなくかつ第四閾値より小さいとき、前記縮小模様画面を前記底部模様画面に変換するステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第四閾値より小さくないとき、前記縮小模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換するステップとを実施することにも用いられることを特徴とする請求項１６に記載の情報入力装置。
【請求項１８】
前記第一変換モジュールは、前記底部模様画面にフルスクリーン模様ボタンを表示するステップと、前記フルスクリーン模様ボタンが触発するとき、前記底部模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換するステップとを実施することにも用いられることを特徴とする請求項１３に記載の情報入力装置。
【請求項１９】
処理装置と、前記処理装置に接続される記憶装置と、前記記憶装置に記憶されているプログラム指令とを含み、前記処理装置が前記プログラム指令を実行することにより請求項１～１１のうちいずれか一項に記載の情報入力方法を実施する端末。
【請求項２０】
プログラム指令が記憶されているコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、前記プログラム指令が前記処理装置に実行されることにより請求項１～１１のうちいずれか一項に記載の情報入力方法を実施するコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
（関連出願への相互参照）
本出願は、２０１９年８月３０日に中国専利局（特許庁に相当する）に提出し、出願番

号が２０１９１０８１５３３９．Ｘであり、発明の名称が「情報入力方法、装置、端末及び記憶媒体」である中国特許出願の優先権を出張し、かつその中国特許出願の全文の内容を本出願に組み込む。

【０００２】

本発明は、コンピュータの技術分野に属し、特に、情報入力方法、装置、端末及び記憶媒体に関するものである。

【背景技術】

【０００３】

携帯端末が情報を記録する能力がますます増加している。使用者は日常の生活において携帯端末により所定の対象に対応しかつ記録の価値がある情報を記録する。

【０００４】

例えば、端末に新しい連絡先（ｐｅｒｓｏｎ　ｔｏ　ｃｏｎｔａｃｔ）の情報を入力するとき、端末にはフルスクリーン模様のユーザーインターフェースが表示される。前記ユーザーインターフェースは、名前、電話番号、メールアドレス、会社名称、職位、注釈またはグループ等を設定するインプットボックス（Ｉｎｐｕｔ　Ｂｏｘ）を含むことができる。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００５】

本発明の実施例において情報入力方法、装置、端末及び記憶媒体を提供し、それらの技術的特徴はつぎのとおりである。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

本発明の例示において情報入力方法を提供する。前記情報入力方法は、

第一指令を受信するとき底部模様画面を表示するステップであって、前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、前記底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さいステップと、

前記底部模様画面に第一入力制御部を表示するステップと、

前記第一入力制御部が触発するとき、入力信号により第一情報を入力するステップであって、前記入力信号は前記端末のセンサーにより前記端末に入力する信号であるステップとを含む。

【０００７】

本発明の例示において情報入力装置を提供する。前記情報入力装置は、

第一指令を受信するとき底部模様画面を表示する画面表示モジュールであって、前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、前記底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さい画面表示モジュールと、

前記底部模様画面に第一入力制御部を表示する制御部表示モジュールと、

前記第一入力制御部が触発するとき、入力信号により端末に第一情報を入力する情報入力モジュールであって、前記入力信号は前記端末のセンサーにより前記端末に入力する信号である情報入力モジュールとを含む。

【０００８】

本発明の例示において端末を提供する。前記端末は処理装置と記憶装置を含み、前記記憶装置には少なくとも１つの指令が記憶されており、前記指令を前記処理装置に送信して実行することにより本発明の実施例に係る前記情報入力方法を実施することができる。

【０００９】

本発明の例示においてコンピュータ読み取り可能な記憶媒体を提供する。前記コンピュータ読み取り可能な記憶媒体には少なくとも１つの指令が記憶されており、前記指令を前

記処理装置に送信して実行することにより本発明の実施例に係る前記情報入力方法を実施することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１０】

以下、本発明の実施例に係る技術的事項をより詳細に説明するため、本発明の実施例において用いる図面を簡単に説明する。注意されたいことは、下記図面は本発明の実施例に係る図面の例示にしか過ぎないものであり、この技術分野の技術者は創造的な研究をしなくても下記図面により他の図面を想到することができ、それらがあっても本発明に含まれることは勿論である。

【図１】本発明の実施例に係る底部模様画面を示す図である。

【図２】本発明の例示に係る端末の構造を示すブロックダイアグラムである。

【図３】本発明の例示に係る情報入力方法を示す流れ図である。

【図４】図３の実施例に係る情報入力過程を示す図である。

【図５】本発明の他の実施例に係る情報入力方法を示す流れ図である。

【図６】図５の実施例に係るフルスクリーン模様画面が表示されていることを示す図である。

【図７】図５の実施例に係る縮小模様画面を示す図である。

【図８】図５の実施例において縮小模様画面が消されることを示す図である。

【図９】図５の実施例において固定区域の変換方法により底部模様画面を変換することを示す図である。

【図１０】図５の実施例において自由区域の変換方法により底部模様画面を変換することを示す図である。

【図１１】図５の実施例において日程の新規作成をすることを示す図である。

【図１２】図５の実施例においてメモの新規作成をすることを示す図である。

【図１３】図５の実施例においてタイムトライアルの設定をすることを示す図である。

【図１４】図５の実施例においてターゲットパスを選択することを示す図である。

【図１５】本発明の例示に係る情報入力装置の構造を示すブロックダイアグラムである。

【発明を実施するための形態】

【００１１】

本発明の目的、技術的事項及び発明の効果をより詳細に説明するため、以下、図面により本発明の実施例に係る技術的事項をより詳細に説明する。

【００１２】

本発明の実施例に係る図面を説明するとき、特別な説明がない限り、図面中の同様の符号は同一であるか或いは類似する要素を指す。以下、本発明の好適な実施例を説明するが、下記好適な実施例は、本発明の例示にしか過ぎないものであり、本発明のすべての実施例を指すものでない。すなわち、本発明は、下記好適な実施例だけでなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内のあらゆる実施例を含むことができる。

【００１３】

本発明の実施例において、「第一」、「第二」という用語を用いる目的は複数の事項を区別することにあり、各事項の重要性を明示するか或いは暗示する意図はない。本発明の実施例において、特別な説明がない限り、「接続」、「連結」という用語の意味を広義に解する必要がある。例えば、固定連結されるということは、着脱可能に連結される或いは一体に連結されるか或いは機械的に連結されるか或いは電気接続されるか或いは間接部品により間接的に連結されることを意味することができる。この技術分野の技術者は本発明の具体的な事項により各用語の意味を適切に理解することができる。本発明の実施例において、特別な説明がない限り、「複数」という用語は２個または２個以上を意味する。「と／或いは」という用語は３つの関係を意味する。例えば、「Ａと／或いはＢ」という用語は、Ａのみが存在するか或いはＡとＢが同時に存在するか或いはＢのみが存在することを意味することができる。「／」という符号はその符号の前後に存在する複数の事項が「ＡまたはＢ」、「Ａ或いはＢ」に存在することを意味する。

【００１４】
本発明の実施例において下記技術的事項、すなわち情報入力方法を提供する。前記情報入力方法は、
第一指令を受信するとき底部模様画面を表示するステップであって、前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面は現在のユーザーインターフェース（ｕｓｅｒ　ｉｎｔｅｒｆａｃｅ）上に表示されているフローティングページ（Ｆｌｏａｔｉｎｇ　ｐａｇｅ）であり、前記底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さいステップと、
前記底部模様画面に第一入力制御部を表示するステップと、
前記第一入力制御部が触発するとき、入力信号により第一情報を入力するステップであって、前記入力信号は前記端末のセンサーにより前記端末に入力する信号であるステップとを含む。
【００１５】
前記底部模様画面を表示した後、前記情報入力方法は、
第二指令を受信するとき前記底部模様画面をフルスクリーン（ｆｕｌｌｓｃｒｅｅｎ）模様画面に変換するステップであって、前記フルスクリーン模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積と同一であり、前記第二指令は前記底部模様画面が所定の操作指令を受信するときそれを触発させる指令であるステップ、または
第三指令を受信するとき前記底部模様画面を縮小模様画面に変換するステップであって、前記縮小模様画面の面積は前記底部模様画面の面積より小さいステップを更に実施する。
【００１６】
前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換した後、前記情報入力方法は、
前記フルスクリーン模様画面にｍ個の第二入力制御部を表示するステップであって、前記第二入力制御部は前記第一入力制御部と異なっている制御部であり、ｍは正整数であるステップと、
前記第二入力制御部は入力される第二情報を受信するとき、前記第二情報を前記端末に記憶させるステップとを更に実施する。
【００１７】
前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換した後、前記情報入力方法は、
前記下向きスライド指令を受信するステップであって、前記下向きスライド指令は前記フルスクリーン模様画面の上部フレームに対してドラッグダウン操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第一閾値より小さくなくかつ第二閾値より小さいとき、前記フルスクリーン模様画面を前記底部模様画面に変換するステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第二閾値より小さくないとき、前記フルスクリーン模様画面を前記縮小模様画面に変換するステップとを更に実施する。
【００１８】
前記底部模様画面を縮小模様画面に変換した後、前記情報入力方法は、
前記縮小模様画面に記憶制御部を表示するステップと、
前記記憶制御部が触発するとき前記第一情報を記憶させるステップとを更に実施する。
【００１９】
前記底部模様画面を縮小模様画面に変換した後、前記情報入力方法は、
前記上向きスライド指令を受信するステップであって、前記上向きスライド指令は前記縮小模様画面の上部フレームに対してドラッグアップ操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第三閾値より小さくなくかつ第四閾値より小さいとき、前記縮小模様画面を前記底部模様画面に変換するステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第四閾値より小さくないとき、前記

縮小模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換するステップとを更に実施する。

【００２０】

前記第二指令を受信するとき前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換するステップは、

前記底部模様画面にフルスクリーン模様ボタンを表示するステップと、

前記フルスクリーン模様ボタンが触発する（すなわちそれがクリックされる）とき、前記底部模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換するステップとを含む。

【００２１】

第一指令を受信するとき底部模様画面を表示するステップは、

前記第一情報を入力する指令を受信するとき、前記第一情報において編集回数がもっとも多い前のｎ個のパラメーターを獲得するステップであって、ｎは正整数であるステップと、

前記底部模様画面を表示するステップと、

前記底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップとを含む。

【００２２】

前記底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップは、ｎが項目数の閾値より大きくないとき、前記底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップを含む。前記パラメーターは前記入力制御部に１つずつ対応する。

【００２３】

前記第一指令は目標対象のストレージパス（Ｓｔｏｒａｇｅ　Ｐａｔｈ）を選択する指令であり、前記目標対象は前記現在のユーザーインターフェースに表示されている対象である。

【００２４】

前記第一情報は、連絡先情報、日程情報、メモ情報、タイムトライアル情報、パス情報またはメール情報のうち少なくとも一種を含むことができる。

【００２５】

本発明の実施例において、第一指令を受信するとき底部模様画面を表示する。前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さい。底部模様画面に第一入力制御部を表示し、第一入力制御部が触発するとき、入力信号により第一情報を入力する。入力信号は端末のセンサーにより端末に入力する信号である。端末は現在のユーザーインターフェースに底部模様画面を表示し、底部模様画面において端末に情報を入力することができる。それにより、本発明は情報を入力する効率を向上させ、使用者は重要な情報を端末に迅速に入力することができる。

【００２６】

本発明の実施例に係る事項を容易に理解してもらうため、本発明の実施例において用いる複数の名詞を説明する。

【００２７】

底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上のフローティングページに表示されているものであり、前記底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さい。本発明の実施例において、前記底部模様画面は端末が第一指令を受信するとき表示される。本発明の実施例に係る表示方法において、前記底部模様画面は、現在のユーザーインターフェースの底部を覆うが、現在のユーザーインターフェースの上半分（ｔｏｐ　ｈａｌｆ）を覆わない。

【００２８】

底部模様画面に動画効果を表示し、前記動画効果は下から上にポップアップ（ｐｏｐ－ｕｐ）するか或いはフェード（Ｆａｄｅ）する動画効果であることができる。

【００２９】
図１を参照すると、図１は本発明の実施例に係る底部模様画面を示す図である。図１は底部模様画面１１０と底部模様画面１２０を含む。底部模様画面１１０は入力用キーボードが含まれている底部模様画面の表示状態であり、底部模様画面１２０は入力用キーボードが含まれていない底部模様画面の表示状態である。図１において、底部模様画面１１０は現在のユーザーインターフェース１００上に表示されているフローティングページであり、底部模様画面１１０は現在のユーザーインターフェース１００の下半分の内容を覆う。注意されたいことは、底部模様画面１２０も現在のユーザーインターフェース１００の一部分の内容を覆う。図１において、現在のユーザーインターフェース１００が連絡先のインターフェース、すなわちアドレスブック（ａｄｄｒｅｓｓ　ｂｏｏｋ）のインターフェースであるとき、底部模様画面１１０と底部模様画面１２０はいずれも新規連絡先のインターフェースであることができる。
【００３０】
第一情報は底部模様画面により端末に入力される情報である。本発明の実施例において、前記第一情報は、連絡先情報、日程情報、メモ情報、タイムトライアル情報、パス情報またはメール情報のうち少なくとも一種を含むことができる。
【００３１】
第一情報が連絡先情報であるとき、底部模様画面は連絡先の新規作成または編集に用いられることができる。
【００３２】
第一情報が日程情報であるとき、底部模様画面は行程の新規作成、編集または日程の新規作成に用いられることができる。
【００３３】
第一情報がメモ情報であるとき、底部模様画面はメモ情報の新規作成または編集に用いられることができる。
【００３４】
本発明の実施例に係る情報入力方法は端末に用いられ、前記端末は表示パネルを具備しかつ情報入力機能を具備している端末であることができる。端末は、携帯電話、タブレットコンピュータ、デジタルカメラ、ＭＰ４プレーヤー、ＭＰ５プレーヤー、マシンラーニング（ｍａｃｈｉｎｅ　ｌｅａｒｎｉｎｇ）、リーディングマシン（ｒｅａｄｉｎｇ　ｍａｃｈｉｎｅ）、イーブック（ｅ－ｂｏｏｋ）、電子辞書（Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃ　ｄｉｃｔｉｏｎａｒｙ）または車内端末等であることができる。
【００３５】
図２を参照すると、図２は本発明の例示に係る端末の構造を示すブロックダイアグラム（ｂｌｏｃｋ　ｄｉａｇｒａｍ）である。図２に示すとおり、前記端末は、処理装置２２０、記憶装置２４０及び表示パネル２６０を含む。前記記憶装置２４０には少なくとも１つの指令が記憶され、前記指令を前記処理装置２４０に送信して実行することにより本発明の実施例に係る前記情報入力方法を実施することができる。前記表示パネル２６０は処理装置の処理によって形成される画像データを表示する。
【００３６】
本発明の実施例において、端末２００は情報入力機能を具備している電子装置である。端末２００が第一指令を受信するとき、端末２００は底部模様画面を表示することができる。前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、底部模様画面の面積は現在のユーザーインターフェースの面積より小さい。端末２００は前記底部模様画面に第一入力制御部を表示することができる。第一入力制御部が触発するとき、端末２００は入力信号により第一情報を入力し、入力信号は端末のセンサーにより端末に入力される信号である。
【００３７】
処理装置２２０は１個または複数個のプロセッサコア（ｐｒｏｃｅｓｓｏｒ　ｃｏｒｅ

ｓ）を含むことができる。処理装置２２０はいろいろなインターフェースと回路により端末２００内の各部分に接続され、処理装置２２０は、記憶装置２４０内の指令、プログラム、コード集合（ｃｏｄｅ　ｓｅｔ）または指令集合を実行するか或いは実施することと、記憶装置２４０内のデータを引用することとにより、端末２００の各機能を実施するとともにデータを処理することができる。処理装置２２０は、デジタル信号処理（Ｄｉｇｉｔａｌ　Ｓｉｇｎａｌ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ、ＤＳＰ）、フィールドプログラマブルゲートアレイ（Ｆｉｅｌｄ－Ｐｒｏｇｒａｍｍａｂｌｅ　Ｇａｔｅ　Ａｒｒａｙ、ＦＰＧＡ）、プログラム可能論理列（Ｐｒｏｇｒａｍｍａｂｌｅ　Ｌｏｇｉｃ　Ａｒｒａｙ、ＰＬＡ）のうち少なくとも一種を採用するハードウェアにより実施されることができる。処理装置２２０は、中央演算処理装置（Ｃｅｎｔｒａｌ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ、ＣＰＵ）、グラフィック処理装置（Ｇｒａｐｈｉｃｓ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ、ＧＰＵ）及びモデム（ｍｏｄｅｍ）のうちいずれか一種であるか或いは複数の組合せであることができる。ＣＰＵは、主として、オペレーティングシステム（ｏｐｅｒａｔｉｎｇ　ｓｙｓｔｅｍ）、ユーザーインターフェース及びアプリケーションプログラム（ａｐｐｌｉｃａｔｉｏｎ　ｐｒｏｇｒａｍ）を制御し、ＧＰＵは表示パネルに表示される内容のリゾート（Ｒｅｎｄｅｒ）と表示を制御し、モデムは無線通信を担当する。前記モデムは、前記処理装置２２０に集積されず、１つのチップで構成されることができる。

【００３８】

記憶装置２４０はランダムアクセスメモリー（ｒａｎｄｏｍ　ａｃｃｅｓｓ　ｍｅｍｏｒｙ、ＲＡＭ）を含むか或いはリードオンリーメモリー（Ｒｅａｄ－Ｏｎｌｙ　Ｍｅｍｏｒｙ、ＲＯＭ）を含むことができる。記憶装置２４０は非臨時的コンピュータ読み取り可能な記憶媒体（ｎｏｎ－ｔｒａｎｓｉｔｏｒｙ　ｃｏｍｐｕｔｅｒ－ｒｅａｄａｂｌｅ　ｓｔｏｒａｇｅ　ｍｅｄｉｕｍ）を含む。記憶装置２４０は、指令、プログラム、コード、コード集合または指令集合を記憶させることに用いられる。記憶装置２４０はプログラム記憶区域とデータ記憶区域を含むことができる。プログラム記憶区域は、オペレーティングシステムの実行に用いられる指令、少なくとも１つの機能の実現に用いられる指令（例えばタッチ制御機能、音声再生機能、画像再生機能等）、各実施例の方法の実施に用いられる指令等を記憶する。データ記憶区域は本発明の各実施例に係るデータ等を記憶する。

【００３９】

表示パネル２６０は処理装置２２０が記憶装置２４０から獲得しかつリゾートが実施された画像データを表示する。本発明の実施例において、処理装置２２０はゾートが実施された画像フレーム（ｉｍａｇｅ　ｆｒａｍｅ）をバッファリングキュー（ｂｕｆｆｅｒｉｎｇ　ｑｕｅｕｅ）に配列させ、表示パネル２６０はバッファリングキュー中の画像フレームの順により画像フレームを順に表示する。

【００４０】

図３を参照すると、図３は本発明の例示に係る情報入力方法を示す流れ図である。前記情報入力方法は図２の端末により実施されることができる。図３に示すとおり、前記情報入力方法は第一指令を受信するとき底部模様画面を表示するステップ３１０を含む。そのステップにおいて、前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、前記底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さい。

【００４１】

本発明の実施例において、端末が正常に作動するとき、端末はアプリケーションプログラムを起動させることにより所定の操作をするか或いは、端末は、ホームページ（システムページともいう）、設置ページ、ノーティフィケーションバー（ｎｏｔｉｆｉｃａｔｉｏｎ　ｂａｒ）ページまたはネガティブスクリーン（Ｎｅｇａｔｉｖｅ　ｓｃｒｅｅｎ）等のユーザーインターフェースにより所定の機能を提供することができる。現在端末に表示されているユーザーインターフェースを現在のユーザーインターフェースと総称する。

【００４２】
現在のユーザーインターフェースが端末に表示されているとき、端末は第一指令を受信したかを検出する。前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものである。注意されたいことは、第一情報は底部模様画面において端末に情報を入力するように指示するものである。
【００４３】
本発明の実施例において、第一指令は使用者が現在のユーザーインターフェース中の所定のタッチ制御部をクリックすることにより触発する指令であることができる。例えば、現在のユーザーインターフェースが図１に示されている現在のユーザーインターフェース１００であるとき、所定のタッチ制御部は入口制御部１０１であることができる。その場合、使用者が「十」形のタッチ制御部１０１をクリックすることにより第一指令を触発させることができる。
【００４４】
他の実施例において、第一指令は使用者が音声アシスタント（Ｖｏｉｃｅ　ａｓｓｉｓｔａｎｔ）で入力した音声により触発する指令であることもできる。例えば、端末の音声アシスタントがアクティブ状態（Ａｃｔｉｖｅ　ｓｔａｔｅ）になっているとき、その音声アシスタントに「新規連絡先を作成する」という音声を入力することにより第一指令を触発させることができる。
【００４５】
他の実施例において、第一指令は情報担体（Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｏｎ　Ｃａｒｒｉｅｒ）が選択されることにより触発する指令であることもできる。注意されたいことは、情報担体は、イメージ、文字パラグラフ、メモまたは音声セグメント（ｓｅｇｍｅｎｔ）のうち少なくとも一種のマルチメディアファイル（Ｍｕｌｔｉｍｅｄｉａ　ｆｉｌｅｓ）であることもできる。本実施例において、情報担体は、名前、電話番号または日程等の情報を含むことができる。例えば、１つのイメージは名前と電話番号を含み、端末は使用者が前記イメージを長く押すことを検出すると、その操作により第一指令を触発させる。
【００４６】
本発明の実施例において、端末は第一指令を受信するとき底部模様画面を表示する。
【００４７】
ステップ３２０において、底部模様画面に第一入力制御部を表示する。
【００４８】
本発明の実施例において、端末は底部模様画面に第一入力制御部を表示することができる。
【００４９】
注意されたいことは、第一入力制御部は底部模様画面に第一情報を入力することに用いられる。第一情報の数量は１個であるか或いは複数個であることができる。例えば、図１に示される底部模様画面１２０において、第一情報の数量は２個であり、２個の第一情報は名前と番号にそれぞれ対応する。その場合、端末は底部模様画面１２０に２個の第一入力制御部を表示し、その２個の第一入力制御部により名前と番号に対応する入力を受信することができる。
【００５０】
ステップ３３０において、第一入力制御部が触発するとき、入力信号により第一情報を入力する。入力信号は端末のセンサーにより端末に入力する信号である。
【００５１】
本発明の実施例において、端末は第一入力制御部が触発するとき入力信号により第一情報を入力する。前記入力信号は端末のセンサーにより端末に入力する信号である。入力信号は、タッチ信号、音声信号または画像信号のうち少なくとも一種である。
【００５２】
本発明の実施例において、第一情報は仮想キーボード（ｖｉｒｔｕａｌ　ｋｅｙｂｏａｒｄ）で入力するものことができる。その場合、入力信号は仮想キーボード上の仮想キー

がクリックされるとき形成される信号である。使用者が仮想キーボード上の仮想キーをクリックするとき形成される信号により、端末は第一入力制御部に既に入力する第一情報を表示することができる。

【００５３】

他の実施例において、第一情報は音声ボタンで入力するものことができる。その場合、入力信号は使用者が話すことにより入力する音声情報である。端末は、使用者の音声情報を受信するとともにその音声情報を認識し、かつ認識によって形成された文字データを第一入力制御部に表示することができる。

【００５４】

他の実施例において、第一情報はイメージの特徴により入力するものことができる。その場合、入力信号は所定のイメージに対してイメージ認識をすることにより形成される文字データである。端末は、イメージを受信するとともにそのイメージを認識し、かつ認識によって形成された文字データを第一入力制御部に表示することができる。

【００５５】

図４を参照すると、図４は図３の実施例に係る情報入力過程を示す図である。図４において、端末はまずフルスクリーン表示状態で現在のユーザーインターフェース１００を表示し、入口制御部１０１がクリックされるとき、現在のユーザーインターフェース１００の上方には底部模様画面１１０が表示される。底部模様画面１１０の第一行は第一入力制御部１０２であり、底部模様画面１１０は第一入力制御部１０３を更に含む。端末は底部模様画面１１０に仮想キーボード１０４を表示する。第一入力制御部１０２と第一入力制御部１０３に情報が入力されないとき、保存制御部１０５は選択不可能な状態になるとともに灰色に表示される。第一入力制御部１０２と第一入力制御部１０３に情報が入力されるとき、保存制御部１０５は選択可能な状態になるとともに黒色またはカラーに表示される。使用者が仮想キーボード１０４を使用しないとき、使用者は格納ボタン（Ｓｔｏｗ ｂｕｔｔｏｎ）１０６をクリックすることにより仮想キーボード１０４を格納することができる。端末は、格納ボタン１０６がクリックされることを検出すると、仮想キーボード１０４を格納するとともに底部模様画面１１０の表示面積を増加させることにより底部模様画面１２０を表示する。注意されたいことは、スクリーンに表示される底部模様画面１２０の高さは底部模様画面１１０の高さより低い。底部模様画面１２０中の保存制御部１０５が触発するとき、端末は第一入力制御部１０２中の名前情報と第一入力制御部１０３中の番号情報を新規連絡先として保存する。図４中の新規連絡先は連絡先１０７であることができる。

【００５６】

本発明の実施例において、底部模様画面１１０と底部模様画面１２０に付加設定ボタン１３０を更に表示することができる。使用者が付加設定ボタン１３０をクリックするとき、使用者は連絡先の付加情報を更に入力することができる。

【００５７】

本発明の実施例において、底部模様画面１１０の高さを随意に設定することができる。本発明の実施例において、底部模様画面１１０の最大高さは１９６２ｐｘであることができる。

【００５８】

以上のとおり、本発明の実施例において、第一指令を受信するとき底部模様画面を表示する。前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、底部模様画面の面積は現在のユーザーインターフェースの面積より小さい。つぎに、底部模様画面に第一入力制御部を表示し、第一入力制御部が触発するとき、入力信号により第一情報を入力する。入力信号は端末のセンサーにより端末に入力する信号である。端末は現在のユーザーインターフェースに底部模様画面を表示し、底部模様画面において端末に情報を入力することができる。それにより、本発明は情報を入力する効率を向上させ、使用者は重要な情報を端末に迅速に入力することができる。

【００５９】
本発明の実施例において、端末はいろいろな操作により底部模様画面を他の模様画面に変換することができる。具体的なことは下記実施例を参照することができる。
【００６０】
図５を参照すると、図５は本発明の他の実施例に係る情報入力方法を示す流れ図である。前記情報入力方法を前記端末に用いることができる。図５に示すとおり、前記情報入力方法は、前記第一情報を入力する指令を受信するとき、前記第一情報において編集回数がもっとも多い前のｎ個のパラメーターを獲得するステップ５１１を含む。そのステップにおいて、ｎは正整数である。
【００６１】
本発明の実施例において、端末は、第一情報を入力する指令を受信するとき、第一情報の従来の編集回数を獲得する。注意されたいことは、前記従来の編集回数は使用者のプライバシー（Ｐｒｉｖａｃｙ）に係るおそれがある。したがって、端末が従来の編集回数を獲得するとき、使用者に請求を送信する必要がある。使用者が端末が従来の編集回数を獲得しようとする請求を許可すると、端末は従来の編集回数を獲得することができる。
【００６２】
本発明の実施例において、従来の編集回数は各対象のパラメーターが編集される回数の総和を指すことができる。下記表一を参照すると、表一中の対象は連絡先であり、パラメーターは、名前、番号、会社及びインスタントメッセージングアカウントの従来の編集回数である。
【００６３】
【表１】

表一

パラメーター名称	名前	番号	会社	インスタントメッセージングアカウント
従来の編集回数	３２０	３１５	１８０	２９６

【００６４】
表一に記載されている新規連絡先において、端末が獲得した名前、番号、会社及びインスタントメッセージングアカウントの従来の編集回数はそれぞれ、３２０、３１５、１８０及び２９６である。ｎが２である場合、端末は２つのパラメーターすなわち名前と番号を獲得する。
【００６５】
端末が表一に記載されているデータを使用し続ける場合、後の所定のタイミングにおいて従来の編集回数を再び読み出す。従来の編集回数は表二に記載されている。
【００６６】
【表２】

表二

パラメーター名称	名前	番号	会社	インスタントメッセージングアカウント
従来の編集回数	４３０	３９０	２７０	３９６

【００６７】
表二のデータにより分かるように、端末がデータを使用し続け、使用者が連絡先の新規作成をするとき、通常、名前とインスタントメッセージングアカウントを関連させる。表二に記載されている従来の編集回数により分かるように、従来の編集回数において前の２

つは名前とインスタントメッセージングアカウントである。
【００６８】
ステップ５１２において、底部模様画面を表示する。
【００６９】
本発明の実施例において、端末は底部模様画面を表示する。
【００７０】
ステップ５１３において、底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示する。
【００７１】
本発明の実施例において、端末は底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示する。注意されたいことは、ｎは前記ステップにおいて獲得したパラメーターである。
【００７２】
例えば、ｎ個のパラメーターがステップ５１１中の表一に表示されるデータにより獲得するパラメーターである場合、ｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部は名前に対応する入力制御部と番号に対応する入力制御部であることができる。
【００７３】
例えば、ｎ個のパラメーターがステップ５１１中の表二に表示されるデータにより獲得するパラメーターである場合、ｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部は名前に対応する入力制御部とインスタントメッセージングアカウント（Ｉｎｓｔａｎｔ　ｍｅｓｓａｇｉｎｇ　ａｃｃｏｕｎｔ）に対応する入力制御部であることができる。
【００７４】
本発明の実施例において、ｎが項目数の閾値より大きくないとき、底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示する。各パラメーターは各入力制御部に１つずつ対応する。
【００７５】
注意されたいことは、底部模様画面を設計する目的は使用者の入力情報の軽量化を実現することにあり、前記底部模様画面が提供する空間には限度がある。項目数の閾値により底部模様画面に入力制御部を表示するとき、端末は入力制御部の数量を判断する必要がある。入力されるパラメーターの数量ｎが項目数の閾値より大きくない場合、端末は底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示することができる。
【００７６】
本発明の実施例において、底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示する方法において、端末にインストールされるアプリケーションも底部模様画面の機能を用い、インタラクティブ性能がよい機能を外部のアプリケーションに用いることができる。
【００７７】
ステップ５２０において、第二指令を受信するとき底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換する。
【００７８】
本発明の実施例において、フルスクリーン模様画面の面積は現在のユーザーインターフェースの面積と同一であり、第二指令は底部模様画面が所定の操作指令を受信するときそれを触発させる指令である。
【００７９】
本発明の実施例において、第二指令は、底部模様画面の上部区域が上へスライドし、かつスライドの距離が上向きスライド距離の閾値を超えるとき形成されるものである。上向きスライド距離の閾値は端末に予め設定される数値であることができる。上向きスライド距離の閾値は１５０ｐｘであることができる。
【００８０】
注意されたいことは、端末は第二指令を受信するとき底部模様画面をフルスクリーン模

様画面に変換する。底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換するとき、端末はいろいろな動画効果により底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換することができる。底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換する方法において、端末が提供した動画効果は下から上にポップアップする動画効果であることができる。

【００８１】

本発明の実施例において、底部模様画面にフルスクリーン模様ボタンを更に表示することができる。フルスクリーン模様ボタンが触発する（すなわちそれがクリックされる）とき、底部模様画面はフルスクリーン模様画面に変換される。

【００８２】

図６を参照すると、図６は図５の実施例に係るフルスクリーン模様画面が表示されることを示す図である。図６において、底部模様画面１１０中のフルスクリーン模様ボタン１０８がクリックされるとき、底部模様画面１１０はフルスクリーン模様画面１３０に変換される。

【００８３】

図６において、底部模様画面１１０をフルスクリーン模様画面１３０に変換する他の方法において、底部模様画面１１０の上部区域１０９が上へスライドしかつスライドの距離が上向きスライド距離の閾値１５０ｐｘを超えるとき、端末は現在のユーザーインターフェース１００の上層にフルスクリーン模様画面１３０を表示する。

【００８４】

本発明の実施例において、底部模様画面１１０の上部区域１０９が上へスライドしかつスライドの距離が上向きスライド距離の閾値１５０ｐｘを超えるとき、底部模様画面１１０の仮想キーボードを隠蔽し、動画効果によりフルスクリーン模様画面１３０を展開することができる。フルスクリーン模様画面１３０が展開されるとき、既に入力された第一情報を保留し、かつ他の部分を展開することにより使用者が情報を入力するようにする。

【００８５】

ステップ５２１において、フルスクリーン模様画面にｍ個の第二入力制御部を表示する。第二入力制御部は第一入力制御部と異なっている制御部であり、ｍは正整数である。

【００８６】

本発明の実施例において、端末はフルスクリーン模様画面にｍ個の第二入力制御部を表示することができる。第二入力制御部は第一入力制御部と異なっている制御部である。他の実施例において、第二入力制御部の機能は第一入力制御部の機能に類似し、第二入力制御部と第一入力制御部はいずれも使用者が情報を獲得するようにするものである。相違点は、底部模様画面に表示されている入力制御部は第一入力制御部であり、フルスクリーン模様画面に表示されている入力制御部は第二入力制御部であることにある。

【００８７】

図６に示す例示において、名前と携帯電話が位置している２行に対応する入力制御部は第一入力制御部である。名前の表音式表記（ＰＩＮＹＩＮ）、会社、職位、仕事、誕生日、ソーシャルソフトウエア（Ｓｏｃｉａｌ　Ｓｏｆｔｗａｒｅ）及びコネクテッドパーソン（ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ　ｐｅｒｓｏｎ）にそれぞれ対応する入力制御部は第二入力制御部である。

【００８８】

ステップ５２２において、第二入力制御部は入力される第二情報を受信するとき、第二情報を端末に記憶させる。

【００８９】

本発明の実施例において、端末はフルスクリーン模様画面において再び入力する第二情報を端末に記憶させる。図６に示される例示において、第二情報は、名前の表音式表記、会社、職位、仕事、誕生日、ソーシャルソフトウエア及びコネクテッドパーソンを含む。

【００９０】

ステップ５２３において、下向きスライド指令を受信する。下向きスライド指令はフルスクリーン模様画面の上部フレームに対してドラッグダウン操作をするとき形成される指

令である。
【００９１】
本発明の実施例において、フルスクリーン模様画面の上部フレームに対してドラッグダウン操作をするとき、下向きスライド指令を形成する。
【００９２】
ステップ５２４において、下向きスライド指令に対応するスライド距離が第一閾値より小さくなくかつ第二閾値より小さいとき、フルスクリーン模様画面を底部模様画面に変換する。
【００９３】
本発明の実施例において、下向きスライド指令に対応するスライド距離が第一閾値より小さくなくかつ第二閾値より小さいとき、端末はフルスクリーン模様画面を底部模様画面に変換する。
【００９４】
本発明の実施例において、第一閾値と第二閾値は所定の比例を有している数値であることができる。例えば、第二閾値は第一閾値のｋ倍であることができる。ｋは１より大きい整数である。
【００９５】
本発明の実施例において、第二閾値は第二閾値より大きい。
【００９６】
ステップ５２５において、下向きスライド指令に対応するスライド距離が第二閾値より小さくないとき、フルスクリーン模様画面を縮小模様画面に変換する。
【００９７】
本発明の実施例において、縮小模様画面の面積は底部模様画面の面積より小さい。本発明の実施例において、縮小模様画面は底部模様画面の上部区域であることができる。例えば、図６に示される例において、底部模様画面１１０の上部区域に縮小模様画面を表示することができる。
【００９８】
ステップ５３０において、第三指令を受信するとき、前記底部模様画面を縮小模様画面に変換する。
【００９９】
本発明の実施例において、縮小模様画面の面積は底部模様画面の面積より小さい。
【０１００】
本発明の実施例において、第三指令は、底部模様画面の上部区域を押すことによりそれが下にスライドする距離が所定の距離を超えるとき触発する指令である。
【０１０１】
図７を参照すると、図７は図５の実施例に係る縮小模様画面を示す図である。図７において、現在のユーザーインターフェース７００の新規メール作成ボタン７０１がクリックされるとき、端末は底部模様画面７１０を表示する。底部模様画面７１０の上部区域７１１がドラッグダウン操作により１５０ｐｘ以上移動するとき、底部模様画面７１０は縮小模様画面７２０に変換される。
【０１０２】
本発明の実施例において、現在のユーザーインターフェース７００がまず縮小模様画面７２０を表示するとき、端末は現在のユーザーインターフェース７００の縮小模様画面７２０の付近に提示情報７２１を表示することができる。前記提示情報７２１は縮小模様画面７２０を底部模様画面７１０に回復させる方法を提示する情報である。例えば、底部模様画面７１０の提示情報７２１に「上向きスライド操作を続けてください」という情報を表示することができる。縮小模様画面７２０は送信制御部７２２とキャンセル制御部７２３を含む。
【０１０３】
ステップ５３１において、縮小模様画面に記憶制御部を表示する。

【０１０４】
本発明の実施例において、縮小模様画面には記憶制御部が表示されている。
【０１０５】
ステップ５３２において、記憶制御部が触発するとき、第一情報を記憶させる。
【０１０６】
本発明の実施例において、記憶制御部が触発するとき、第一情報を記憶させる。
【０１０７】
本発明の実施例において、縮小模様画面には送信制御部が表示されており、送信制御部が触発するとき、端末は第一情報を送信する。
【０１０８】
ステップ５３３において、上向きスライド指令を受信する。上向きスライド指令は縮小模様画面の上部フレームに対してドラッグアップ操作をするとき形成される指令である。
【０１０９】
ステップ５３４において、上向きスライド指令に対応するスライド距離が第三閾値より小さくなくかつ第四閾値より小さいとき、縮小模様画面を底部模様画面に変換する。
【０１１０】
本発明の実施例において、第三閾値と第四閾値は所定の比例を有している数値であることができる。例えば、第四閾値は第三閾値のＬ倍であることができる。Ｌは１より大きい整数である。
【０１１１】
本発明の実施例において、第四閾値は第三閾値より大きい。
【０１１２】
ステップ５３５において、上向きスライド指令に対応するスライド距離が第四閾値より小さくないとき、縮小模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換する。
【０１１３】
本発明の実施例において、底部模様画面を表示した後、その底部模様画面を消すこともできる。図８を参照すると、図８は図５の実施例において縮小模様画面が消されることを示す図である。図８において、底部模様画面１１０の上部区域１０９がドラッグダウン操作により１５０ｐｘ以上移動するとき、端末は底部模様画面１１０を消すとともにフルスクリーン表示状態で現在のユーザーインターフェース１００を表示する。
【０１１４】
本発明の実施例において、固定区域の変換方法と自由区域の変換方法により底部模様画面を他の模様画面に変換することができる。他の模様画面はフルスクリーン模様画面と縮小模様画面を含む。
【０１１５】
図９を参照すると、図９は図５の実施例において固定区域の変換方法により底部模様画面を変換することを示す図である。
【０１１６】
図９の実施例において、底部模様画面１１０の上部区域１０９がドラッグアップ操作により１５０ｐｘ以上移動するとき、現在のユーザーインターフェース１００の区域１９１には「この区域において手を離すとフルスクリーン模様に変換される」という提示情報が表示される。使用者が区域１９１において（ドラッグアップ操作をする）手を離すと、底部模様画面１１０はフルスクリーン模様画面に変換される。
【０１１７】
図９の実施例において、底部模様画面１１０の上部区域１０９がドラッグダウン操作により１５０ｐｘ以上移動するとき、現在のユーザーインターフェース１００の区域１９２には「この区域において手を離すとキャンセルされる」という提示情報が表示される。使用者が区域１９２において（ドラッグアップ操作をする）手を離すと、底部模様画面１１０は隠蔽され、フルスクリーン表示状態で現在のユーザーインターフェース１００を表示する。

【０１１８】
図１０を参照すると、図１０は図５の実施例において自由区域の変換方法により底部模様画面を変換することを示す図である。図１０の自由区域の変換方法をキャンセルする方法において、端末よりキャンセル用距離閾値を設定することができる。
【０１１９】
ドラッグ操作による底部模様画面１１０の上部区域１０９の移動距離がキャンセル用距離閾値より小さいとき、端末は区域１９２に「下向きスライドを続けてください」という提示情報を表示する。その場合、使用者が（下向きスライド操作をする）手を離すと、端末は、底部模様画面１１０を隠蔽し、フルスクリーン表示状態で現在のユーザーインターフェース１００を表示する。
【０１２０】
ドラッグ操作による底部模様画面１１０の上部区域１０９の移動距離がキャンセル用距離閾値より小さくないとき、端末は区域１９２に「手を離してください」という提示情報を表示する。その場合、使用者が手を離すと、端末は底部模様画面１１０を再び表示する。
【０１２１】
本発明の実施例において図５の実施例による下記複数の応用場面を更に含むことができる。その場面は、日程を新規作成する場面、メモを新規作成する場面、タイムトライアルを設定する場面及びターゲットパスを選択する場面を含むことができる。以下、本発明の図面によりそれらをそれぞれ説明する。
【０１２２】
図１１を参照すると、図１１は図５の実施例において日程の新規作成をすることを示す図である。図１１において、端末は、底部模様画面１１１０に第一情報を入力し、底部模様画面１１１０中の付加設定ボタン１１１１がクリックされるとき、底部模様画面１１１０をフルスクリーン模様画面１１２０に変換する。その場合、使用者はフルスクリーン模様画面１１２０に第二情報を入力することにより新規日程の情報を完備することができる。
【０１２３】
図１２を参照すると、図１２は図５の実施例においてメモの新規作成をすることを示す図である。図１２において、端末は、底部模様画面１２１０に第一情報を入力し、底部模様画面１２１０中の時間設定ボタン１２１１がクリックされるとき、底部模様画面１２１０をフルスクリーン模様画面１２２０に変換する。その場合、使用者はフルスクリーン模様画面１２２０に第二情報を入力することによりメモの情報を完備することができる。
【０１２４】
図１３を参照すると、図１３は図５の実施例においてタイムトライアルの設定をすることを示す図である。図１３において、端末は底部模様画面１３１０においてタイムトライアルを設定する。タイムトライアルをフルスクリーン模様に表示するユーザーインターフェース１３２０と比較してみると、底部模様画面１３１０にタイムトライアルを表示することにより時間を容易に設定することができる。
【０１２５】
本発明の実施例に係る底部模様画面の応用場面において、前記底部模様画面は目標対象のストレージパスを選択することにも用いられることができる。前記応用場面において、第一指令は目標対象のストレージパスを選択する指令であり、目標対象は現在のユーザーインターフェースに表示されている対象である。
【０１２６】
図１４を参照すると、図１４は図５の実施例においてターゲットパスを選択することを示す図である。図１４において、端末は底部模様画面１４１０に使用者が圧縮しようとするファイルのパスを表示する。使用者が選択したパスが所定のパスに適合するとき、端末は底部模様画面１４１０に完成ボタン１４１１を表示する。前記完成ボタン１４１１に「ここに圧縮する」という提示情報を表示することができる。

【０１２７】
本発明の実施例において、現在のユーザーインターフェースに底部模様画面を表示し、底部模様画面をフルスクリーン模様画面または縮小模様画面に迅速に変換することができるので、端末は現在のユーザーインターフェースを変えなくても、各模様の画面を容易に変換し、情報を迅速に入力し、端末に情報を入力するか或いは端末を設定する効率を向上させることができる。
【０１２８】
本発明の実施例に係る下記情報入力装置により本発明の実施例に係る情報入力方法を実施することができる。本発明の情報入力装置において説明しない事項は、本発明の情報入力方法中の事項を参照することができる。
【０１２９】
図１５を参照すると、図１５は本発明の例示に係る情報入力装置の構造を示すブロックダイアグラムである。前記情報入力装置は、ソフトウェア、ハードウェアまたはその２つの組合せにより実施される端末の全部または一部分になることができる。前記情報入力装置は、
第一指令を受信するとき底部模様画面を表示する画面表示モジュールであって、前記第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面は現在のユーザーインターフェース上に表示されているフローティングページであり、前記底部模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積より小さい画面表示モジュール１５１０と、
前記底部模様画面に第一入力制御部を表示する制御部表示モジュール１５２０と、
前記第一入力制御部が触発するとき、入力信号により端末に第一情報を入力する情報入力モジュールであって、前記入力信号は前記端末のセンサーにより前記端末に入力する信号である情報入力モジュール１５３０とを含む。
【０１３０】
本発明の実施例において、前記情報入力装置は第一変換モジュールと第二変換モジュールを更に含むことができる。第一変換モジュールは、第二指令を受信するとき前記底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換する。前記フルスクリーン模様画面の面積は前記現在のユーザーインターフェースの面積と同一であり、前記第二指令は前記底部模様画面が所定の操作指令を受信するときそれを触発させる指令である。第二変換モジュールは第三指令を受信するとき前記底部模様画面を縮小模様画面に変換する。前記縮小模様画面の面積は前記底部模様画面の面積より小さい。
【０１３１】
本発明の実施例において、前記情報入力装置は実施モジュールを更に含むことができる。実施モジュールは、前記フルスクリーン模様画面にｍ個の第二入力制御部を表示するステップであって、前記第二入力制御部は前記第一入力制御部と異なっている制御部であり、ｍは正整数であるステップと、
前記第二入力制御部は入力される第二情報を受信するとき、前記第二情報を前記端末に記憶させるステップとを実施することにも用いられる。
【０１３２】
本発明の実施例において、前記実施モジュールは、
前記下向きスライド指令を受信するステップであって、前記下向きスライド指令は前記フルスクリーン模様画面の上部フレームに対してドラッグダウン操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第一閾値より小さくなくかつ第二閾値より小さいとき、前記フルスクリーン模様画面を前記底部模様画面に変換するステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第二閾値より小さくないとき、前記フルスクリーン模様画面を前記縮小模様画面に変換するステップとを実施することにも用いられる。

【０１３３】
本発明の実施例において、前記実施モジュールは、前記縮小模様画面に記憶制御部を表示するステップと、前記記憶制御部が触発するとき前記第一情報を記憶させるステップとを実施することにも用いられる。
【０１３４】
本発明の実施例において、前記実施モジュールは、
前記上向きスライド指令を受信するステップであって、前記上向きスライド指令は前記縮小模様画面の上部フレームに対してドラッグアップ操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第三閾値より小さくなくかつ第四閾値より小さいとき、前記縮小模様画面を前記底部模様画面に変換するステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第四閾値より小さくないとき、前記縮小模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換するステップとを実施することにも用いられる。
【０１３５】
本発明の実施例において、前記第一変換モジュールは、前記底部模様画面にフルスクリーン模様ボタンを表示するステップと、前記フルスクリーン模様ボタンが触発する（すなわちそれがクリックされる）とき、前記底部模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換するステップとを実施することにも用いられる。
【０１３６】
本発明の実施例において、前記画面表示モジュール１５１０は、
前記第一情報を入力する指令を受信するとき、前記第一情報において編集回数がもっとも多い前のｎ個のパラメーターを獲得するステップであって、ｎは正整数であるステップと、
前記底部模様画面を表示するステップと、
前記底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップとを実施することに用いられる。
【０１３７】
本発明の実施例において、前記画面表示モジュール１５１０は、ｎが項目数の閾値より大きくないとき、前記底部模様画面にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示することに用いられる。前記パラメーターは前記入力制御部に１つずつ対応する。
【０１３８】
本発明の実施例において、前記情報入力装置において用いる前記第一指令は目標対象のストレージパスを選択する指令であり、前記目標対象は前記現在のユーザーインターフェースに表示されている対象である。
【０１３９】
本発明の実施例において、前記情報入力装置において用いる前記第一指令は、連絡先情報、日程情報、メモ情報、タイムトライアル情報、パス情報またはメール情報のうち少なくとも一種を含むことができる。
【０１４０】
本発明の例示においてコンピュータ読み取り可能な記憶媒体を提供する。前記コンピュータ読み取り可能な記憶媒体には少なくとも１つの指令が記憶されており、前記指令を前記処理装置に送信して実行することにより本発明の実施例に係る前記情報入力方法を実施することができる。
【０１４１】
注意されたいことは、本発明の情報入力方法を実施する本発明の情報入力装置を説明するとき、所定の機能実現モジュールで所定の機能を実施することを説明してきたが、実際の応用において、異なる機能実現モジュールで同一の機能を実施することもできる。すなわち、情報入力装置の内部にいろいろな機能実現モジュールを設置することにより本発明のすべての機能または一部分の機能を実現することができる。本発明の情報入力装置は本

発明の情報入力方法に対応するものであり、情報入力装置の具体的な作動過程は情報入力方法を参照することができるので、ここで再び説明しない。

【０１４２】

本発明の実施例に添加されている番号は、各実施例を区別するものであり、各実施例の利点と欠点を表すものでない。

【０１４３】

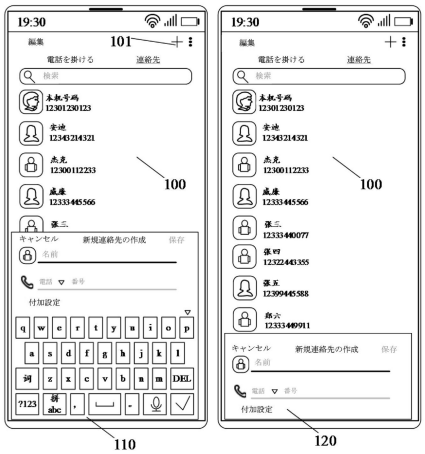
この技術分野の技術者が知っているとおり、本発明の実施例中のすべてのステップまたは一部分のステップはハードウェアにより実施されるか或いはプログラム指令がインストールされるハードウェアにより実施されることができる。前記プログラムはコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に記憶されることができる。前記記憶媒体は、リードオンリーメモリー、磁気ディスク記憶装置または光線ディスク記憶装置等であることができる。

【０１４４】

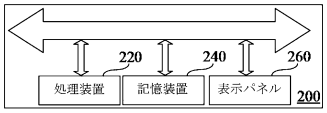
以上、本発明の実施例を詳述してきたが、前記実施例は本発明の例示にしか過ぎないものであるため、本発明は前記実施例の構成にのみ限定されるものでない。本発明の要旨を逸脱しない範囲内において設計の変更、代替、改良等をすることができ、それらがあっても本発明に含まれることは勿論である。

【図面】

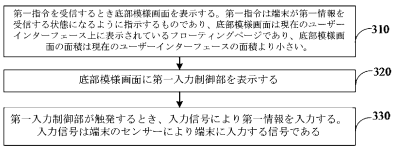
【図１】



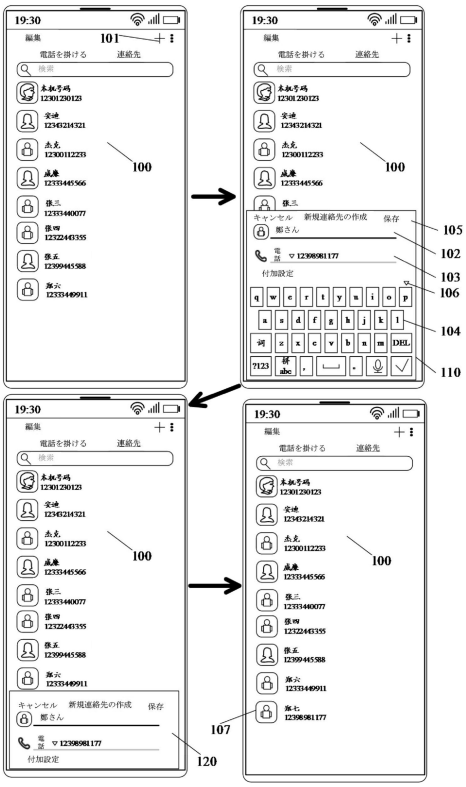
【図２】



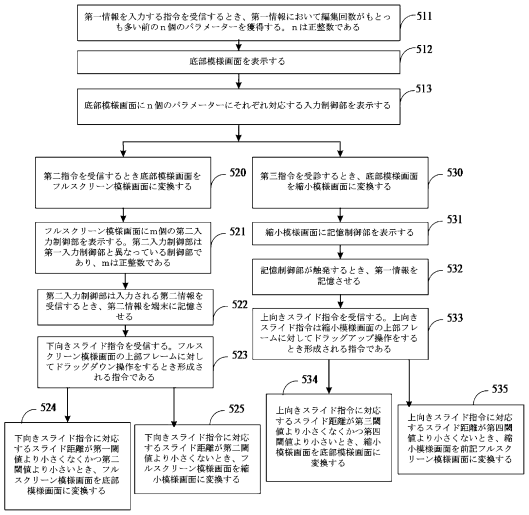
【図３】


第一指令を受信するとき底部模様画面を表示する。第一指令は端末が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、底部模様画面は現在のユーザーインターフェースに表示されているフローティングページであり、底部模様画面の面積は現在のユーザーインターフェースの面積より小さい。
310
底部模様画面に第一入力制御部を表示する
320
第一入力制御部が触発するとき、入力信号により第一情報を入力する。入力信号は端末のセンサーにより端末に入力する信号である
330

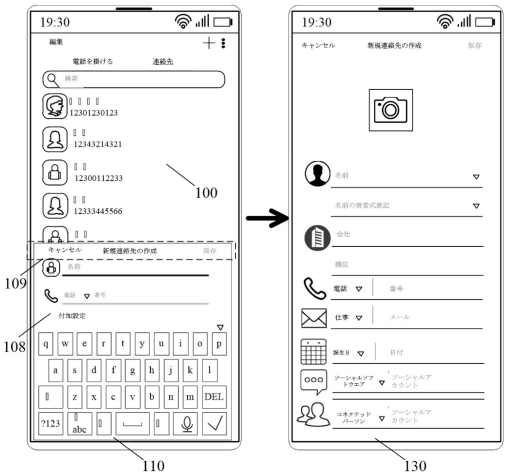
【図４】


19:30
編集
電話を掛ける
連絡先
検索
100
101
キャンセル
新規連絡先の作成
保存
105
102
103
106
104
110
107
120

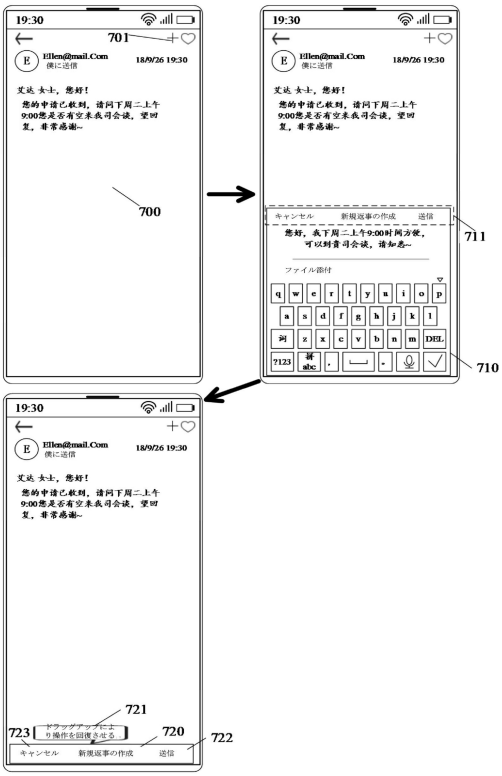
【図５】


第一情報を入力する指令を受信するとき、第一情報において編集回数がもっとも多い前のn個のパラメーターを獲得する。nは正整数である
511
底部模様画面を表示する
512
底部模様画面にn個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示する
513
第二指令を受信するとき底部模様画面をフルスクリーン模様画面に変換する
520
第三指令を受診するとき、底部模様画面を縮小模様画面に変換する
530
フルスクリーン模様画面にm個の第二入力制御部を表示する。第二入力制御部は第一入力制御部と異なっている制御部であり、miは正整数である
521
縮小模様画面に記憶制御部を表示する
531
記憶制御部が触発するとき、第一情報を記憶させる
532
第二入力制御部は入力される第二情報を受信するとき、第二情報を端末に記憶させる
522
上向きスライド指令を受信する。上向きスライド指令は縮小模様画面の上部フレームに対してドラッグアップ操作をするとき形成される指令である
533
下向きスライド指令を受信する。フルスクリーン模様画面の上部フレームに対してドラッグダウン操作をするとき形成される指令である
523
下向きスライド指令に対応するスライド距離が第一閾値より小さくなくかつ第二閾値より小さいとき、フルスクリーン模様画面を底部模様画面に変換する
524
下向きスライド指令に対応するスライド距離が第二閾値より小さくないとき、フルスクリーン模様画面を縮小模様画面に変換する
525
上向きスライド指令に対応するスライド距離が第三閾値より小さくなくかつ第四閾値より小さいとき、縮小模様画面を底部模様画面に変換する
534
上向きスライド指令に対応するスライド距離が第四閾値より小さくないとき、縮小模様画面を前記フルスクリーン模様画面に変換する
535

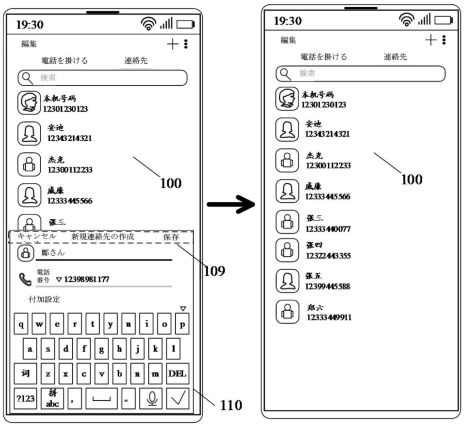
【図６】


19:30
編集
電話を掛ける
連絡先
検索
100
キャンセル
新規連絡先の作成
保存
109
108
110
130

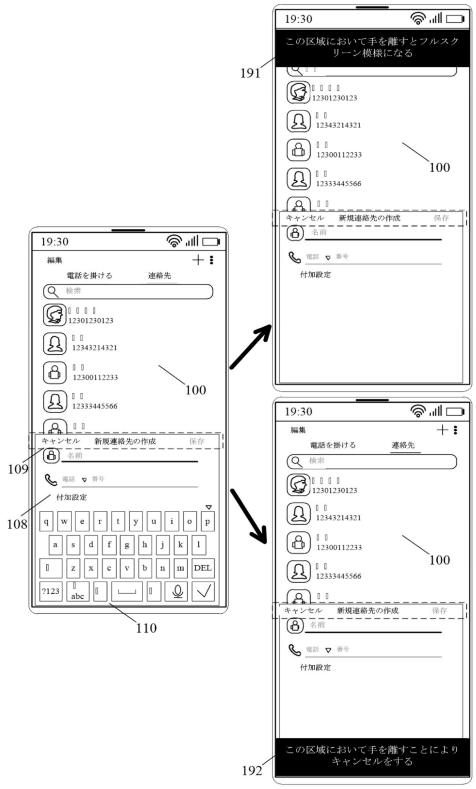
【図７】


19:30
701
E
Ellen@mail.Com
18/9/26 19:30
700
711
710
721
723
720
722
キャンセル
新規返事の作成
送信

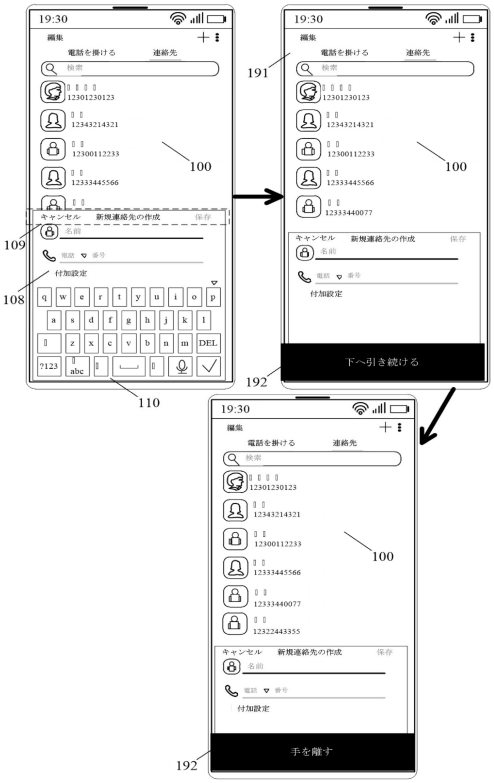
【図８】


19:30
編集
電話を掛ける
連絡先
100
109
110
キャンセル
新規連絡先の作成
保存
付加設定

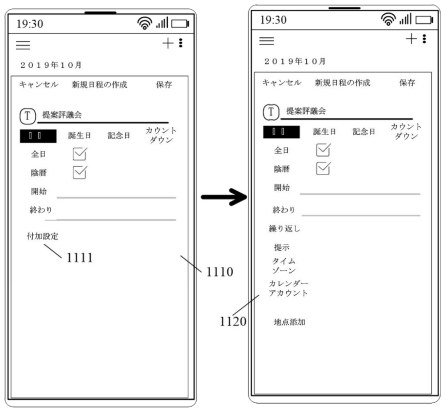
【図９】


19:30
この区域において手を離すとフルスクリーン模様になる
191
100
109
108
110
192
この区域において手を離すことによりキャンセルをする

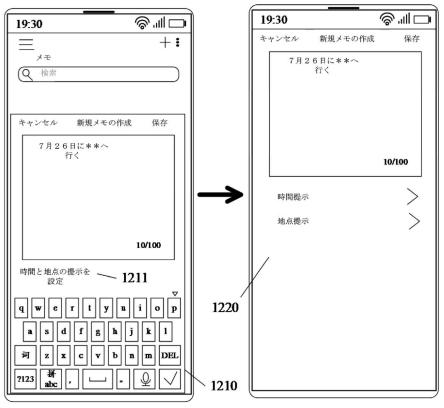
【図１０】


19:30
編集
電話を掛ける
連絡先
191
100
109
108
110
192
下へ引き続ける
手を離す

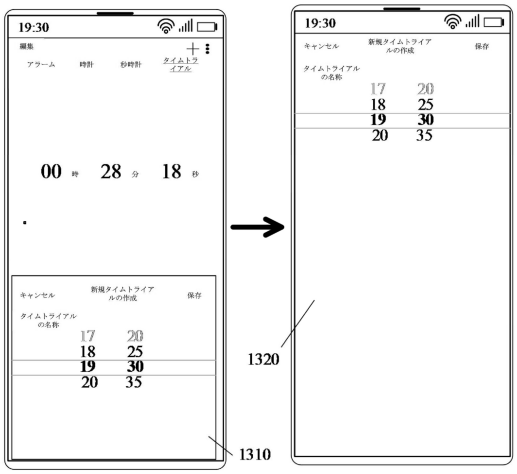
【図１１】



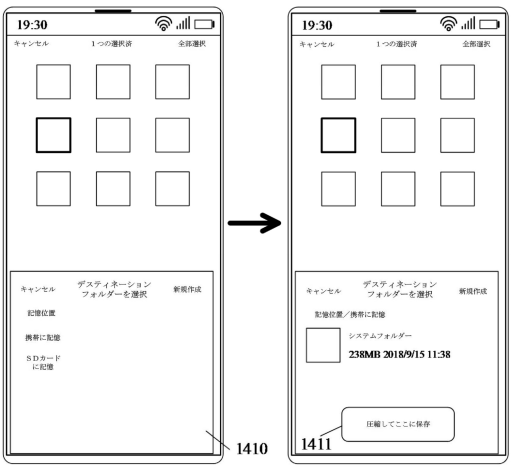
【図１２】



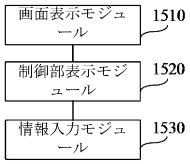
【図１３】



【図１４】



【図１５】



【手続補正書】
【提出日】令和4年4月12日(2022.4.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第一指令を受信するとき底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を表示するステップであって、前記第一指令は端末（２００）が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）は現在のユーザーインターフェース（１００、７００）上に表示されているフローティングページであり、前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）の面積は前記現在のユーザーインターフェース（１００、７００）の面積より小さいステップと、
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）に第一入力制御部（１０２、１０３）を表示するステップと、
前記第一入力制御部（１０２、１０３）が触発するとき、入力信号により第一情報を入力するステップであって、前記入力信号は前記端末のセンサーにより前記端末に入力する信号であるステップとを含むことを特徴とする情報入力方法。
【請求項２】
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を表示した後、前記情報入力方法は、
第二指令を受信するとき前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）をフルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）に変換するステップであって、前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）の面積は前記現在のユーザーインターフェース（１００、７００）の面積と同一であり、前記第二指令は前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）において所定の操作を実施するときそれを触発させる指令であるステップ、または
第三指令を受信するとき前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を縮小模様画面（７２０）に変換するステップであって、前記縮小模様画面（７２０）の面積は前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）の面積より小さいステップを更に実施することを特徴とする請求項１に記載の情報入力方法。
【請求項３】
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）をフルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）に変換した後、前記情報入力方法は、
前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）にｍ個の第二入力制御部を表示するステップであって、前記第二入力制御部は前記第一入力制御部（１０２、１０３）と異なっている制御部であり、ｍは正整数であるステップと、
前記第二入力制御部は入力される第二情報を受信するとき、前記第二情報を前記端末（２００）に記憶させるステップとを更に実施することを特徴とする請求項２に記載の情報入力方法。
【請求項４】
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）をフルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）に変換した後、前記情報

入力方法は、
前記下向きスライド指令を受信するステップであって、前記下向きスライド指令は前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）の上部フレームに対してドラッグダウン操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第一閾値より小さくなくかつ第二閾値より小さいとき、前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）を前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）に変換するステップと、
前記下向きスライド指令に対応するスライド距離が第二閾値より小さくないとき、前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）を前記縮小模様画面（７２０）に変換するステップとを更に実施することを特徴とする請求項３に記載の情報入力方法。
【請求項５】
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を縮小模様画面（７２０）に変換した後、前記情報入力方法は、
前記縮小模様画面（７２０）に記憶制御部を表示するステップと、
前記記憶制御部が触発するとき前記第一情報を記憶させるステップとを更に実施することを特徴とする請求項２に記載の情報入力方法。
【請求項６】
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を縮小模様画面（７２０）に変換した後、前記情報入力方法は、
前記上向きスライド指令を受信するステップであって、前記上向きスライド指令は前記縮小模様画面（７２０）の上部フレームに対してドラッグアップ操作をするとき形成される指令であるステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第三閾値より小さくなくかつ第四閾値より小さいとき、前記縮小模様画面（７２０）を前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）に変換するステップと、
前記上向きスライド指令に対応するスライド距離が第四閾値より小さくないとき、前記縮小模様画面（７２０）を前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）に変換するステップとを更に実施することを特徴とする請求項５に記載の情報入力方法。
【請求項７】
前記第二指令を受信するとき前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）をフルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）に変換するステップは、
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）にフルスクリーン模様ボタンを表示するステップと、
前記フルスクリーン模様ボタンが触発するとき、前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）に変換するステップとを含むことを特徴とする請求項２に記載の情報入力方法。
【請求項８】
第一指令を受信するとき底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を表示するステップは、
前記第一情報を入力する指令を受信するとき、前記第一情報において編集回数がもっとも多い前のｎ個のパラメーターを獲得するステップであって、ｎは正整数であるステップと、
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を表示するステップと、
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップとを含むことを特徴とする請求項１～７のうちいずれか一項に記載の情報入力方法。

【請求項９】
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップは、ｎが項目数の閾値より大きくないとき、前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）にｎ個のパラメーターにそれぞれ対応する入力制御部を表示するステップを含み、前記パラメーターは前記入力制御部に１つずつ対応することを特徴とする請求項８に記載の情報入力方法。
【請求項１０】
前記第一指令は目標対象のストレージパスを選択する指令であり、前記目標対象は前記現在のユーザーインターフェース（１００、７００）に表示されている対象であることを特徴とする請求項１に記載の情報入力方法。
【請求項１１】
前記第一情報は、連絡先情報、日程情報、メモ情報、タイムトライアル情報、パス情報またはメール情報のうち少なくとも一種を含むことを特徴とする請求項１に記載の情報入力方法。
【請求項１２】
第一指令を受信するとき底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を表示する画面表示モジュールであって、前記第一指令は端末（２００）が第一情報を受信する状態になるように指示するものであり、前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）は現在のユーザーインターフェース（１００、７００）上に表示されているフローティングページであり、前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）の面積は前記現在のユーザーインターフェース（１００、７００）の面積より小さい画面表示モジュール（１５１０）と、
前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）に第一入力制御部（１０２、１０３）を表示する制御部表示モジュール（１５２０）と、
前記第一入力制御部（１０２、１０３）が触発するとき、入力信号により端末に第一情報を入力する情報入力モジュールであって、前記入力信号は前記端末のセンサーにより前記端末に入力する信号である情報入力モジュール（１５３０）とを含むことを特徴とする情報入力装置。
【請求項１３】
前記情報入力装置は第一変換モジュールと第二変換モジュールを更に含み、
前記第一変換モジュールは、第二指令を受信するとき前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）をフルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）に変換し、前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）の面積は前記現在のユーザーインターフェース（１００、７００）の面積と同一であり、前記第二指令は前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）において所定の操作を実施するときそれを触発させる指令であり、
前記第二変換モジュールは第三指令を受信するとき前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）を縮小模様画面（７２０）に変換し、前記縮小模様画面（７２０）の面積は前記底部模様画面（１１０、１２０、７１０、１１１０、１２１０、１３１０、１４１０）の面積より小さいことを特徴とする請求項１２に記載の情報入力装置。
【請求項１４】
前記情報入力装置は実施モジュールを更に含み、前記実施モジュールは、
前記フルスクリーン模様画面（１３０、１１２０、１２２０）にｍ個の第二入力制御部を表示するステップであって、前記第二入力制御部は前記第一入力制御部（１０２、１０３）と異なっている制御部であり、ｍは正整数であるステップと、

前記第二入力制御部は入力される第二情報を受信するとき、前記第二情報を前記端末（２００）に記憶させるステップとを実施することにも用いられることを特徴とする請求項１３に記載の情報入力装置。
【請求項１５】
処理装置（２２０）と、前記処理装置（２２０）に接続される記憶装置（２４０）と、前記記憶装置に記憶されているプログラム指令とを含み、前記処理装置が前記プログラム指令を実行することにより請求項１～１１のうちいずれか一項に記載の情報入力方法を実施することを特徴とする端末（２００）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
本発明は、コンピュータの技術分野に属し、特に、情報入力方法、装置及び端末に関するものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明の実施例において情報入力方法、装置及び端末を提供し、それらの技術的特徴はつぎのとおりである。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/CN2020/109857

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06F 3/0484(2013.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06F;H04M

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

EPTXT; USTXT; VEN; WOTXT; CNABS; CNTXT; CNKI: 输入, 界面, 页面, 浮层, 悬浮, 控件, input, UI, page, float layer, suspend, control

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
PX	CN 110515524 A (OPPO GUANGDONG MOBILE COMMUNICATIONS CO., LTD.) 29 November 2019 (2019-11-29) entire document	1-20
X	CN 106406739 A (VIVO COMMUNICATION TECHNOLOGY CO., LTD.) 15 February 2017 (2017-02-15) description, paragraphs 34-115, 146-183	1-20
X	CN 108427588 A (ALIBABA GROUP HOLDING LIMITED) 21 August 2018 (2018-08-21) description, paragraphs 39-101, and figures 1-9	1-2, 11-13, 19-20
X	CN 106293473 A (MEIZU TELECOM EQUIPMENT CO., LTD.) 04 January 2017 (2017-01-04) description, paragraphs 47-78, figure 3, figure 5	1-2, 12-13, 19-20
A	CN 103823621 A (LENOVO (BEIJING) LIMITED) 28 May 2014 (2014-05-28) entire document	1-20
A	CN 107066174 A (GUANGZHOU SHENMA MOBILE INFORMATION TECHNOLOGY CO., LTD.) 18 August 2017 (2017-08-18) entire document	1-20

☑ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☑ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
16 November 2020	**25 November 2020**
Name and mailing address of the ISA/CN **China National Intellectual Property Administration (ISA/CN)** **No. 6, Xitucheng Road, Jimenqiao Haidian District, Beijing 100088** **China**	Authorized officer
Facsimile No. **(86-10)62019451**	Telephone No.

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2015)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/CN2020/109857

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 2013091156 A1 (RAICHE, Samuel B. et al.) 11 April 2013 (2013-04-11) entire document	1-20

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2015)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/CN2020/109857

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)			Publication date (day/month/year)
CN	110515524	A	29 November 2019	None			
CN	106406739	A	15 February 2017	CN	106406739	B	15 October 2019
CN	108427588	A	21 August 2018	None			
CN	106293473	A	04 January 2017	None			
CN	103823621	A	28 May 2014	CN	103823621	B	03 November 2017
CN	107066174	A	18 August 2017	None			
US	2013091156	A1	11 April 2013	WO	2013052309	A1	11 April 2013

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (January 2015)

国际检索报告

国际申请号
PCT/CN2020/109857

A. 主题的分类

G06F 3/0484(2013.01)i

按照国际专利分类(IPC)或者同时按照国家分类和IPC两种分类

B. 检索领域

检索的最低限度文献(标明分类系统和分类号)

G06F;H04M

包含在检索领域中的除最低限度文献以外的检索文献

在国际检索时查阅的电子数据库(数据库的名称，和使用的检索词（如使用）)

EPTXT;USTXT;VEN;WOTXT;CNABS;CNTXT;CNKI:输入，界面，页面，浮层，悬浮，控件，input，UI，page，float layer，suspend，control

C. 相关文件

类 型*	引用文件，必要时，指明相关段落	相关的权利要求
PX	CN 110515524 A (OPPO广东移动通信有限公司) 2019年 11月 29日 (2019-11-29) 全文	1-20
X	CN 106406739 A (维沃移动通信有限公司) 2017年 2月 15日 (2017-02-15) 说明书第34-115、146-183段	1-20
X	CN 108427588 A (阿里巴巴集团控股有限公司) 2018年 8月 21日 (2018-08-21) 说明书第39-101段，图1-9	1-2，11-13，19-20
X	CN 106293473 A (珠海市魅族科技有限公司) 2017年 1月 4日 (2017-01-04) 说明书第47-78段，图3、图5	1-2，12-13，19-20
A	CN 103823621 A (联想北京有限公司) 2014年 5月 28日 (2014-05-28) 全文	1-20
A	CN 107066174 A (广州神马移动信息科技有限公司) 2017年 8月 18日 (2017-08-18) 全文	1-20
A	US 2013091156 A1 (RAICHE，Samuel B. 等) 2013年 4月 11日 (2013-04-11) 全文	1-20

☐ 其余文件在C栏的续页中列出。

☑ 见同族专利附件。

* 引用文件的具体类型：
"A" 认为不特别相关的表示了现有技术一般状态的文件
"E" 在国际申请日的当天或之后公布的在先申请或专利
"L" 可能对优先权要求构成怀疑的文件，或为确定另一篇引用文件的公布日而引用的或者因其他特殊理由而引用的文件（如具体说明的）
"O" 涉及口头公开、使用、展览或其他方式公开的文件
"P" 公布日先于国际申请日但迟于所要求的优先权日的文件
"T" 在申请日或优先权日之后公布，与申请不相抵触，但为了理解发明之理论或原理的在后文件
"X" 特别相关的文件，单独考虑该文件，认定要求保护的发明不是新颖的或不具有创造性
"Y" 特别相关的文件，当该文件与另一篇或者多篇该类文件结合并且这种结合对于本领域技术人员为显而易见时，要求保护的发明不具有创造性
"&" 同族专利的文件

国际检索实际完成的日期	国际检索报告邮寄日期
2020年 11月 16日	2020年 11月 25日
ISA/CN的名称和邮寄地址 中国国家知识产权局(ISA/CN) 中国北京市海淀区蓟门桥西土城路6号 100088 传真号 (86-10)62019451	受权官员 柏娟花 电话号码 86-(20)-28950389

PCT/ISA/210 表(第2页) (2015年1月)

国际检索报告
关于同族专利的信息

国际申请号
PCT/CN2020/109857

检索报告引用的专利文件			公布日（年/月/日）	同族专利			公布日（年/月/日）
CN	110515524	A	2019年 11月 29日	无			
CN	106406739	A	2017年 2月 15日	CN	106406739	B	2019年 10月 15日
CN	108427588	A	2018年 8月 21日	无			
CN	106293473	A	2017年 1月 4日	无			
CN	103823621	A	2014年 5月 28日	CN	103823621	B	2017年 11月 3日
CN	107066174	A	2017年 8月 18日	无			
US	2013091156	A1	2013年 4月 11日	WO	2013052309	A1	2013年 4月 11日

PCT/ISA/210 表(同族专利附件) (2015年1月)

フロントページの続き

MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IR,IS,IT,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,WS,ZA,ZM,ZW

(72)発明者　チェン ジーイェ
中華人民共和国カントン、ドングァン、チャンアン、ウーシャ、ハイビン、ロード、ナンバー１８
(72)発明者　リュウ カイフイ
中華人民共和国カントン、ドングァン、チャンアン、ウーシャ、ハイビン、ロード、ナンバー１８
(72)発明者　ウー インイー
中華人民共和国カントン、ドングァン、チャンアン、ウーシャ、ハイビン、ロード、ナンバー１８
(72)発明者　パン イン
中華人民共和国カントン、ドングァン、チャンアン、ウーシャ、ハイビン、ロード、ナンバー１８

Ｆターム（参考）　5E555　AA02 AA13 AA76 BA05 BA06 BB05 BB06 BC08 BC19 CA12
CA22 CB07 CB12 CB16 CB55 CB57 CB64 CC24 CC25 DA02 DB25
DC09 DC17 DC26 DC27 DC28 DC59 DC84 DC85 EA03 EA07 FA00